

用語解説

語句	意味
東京のしゃれた街並みづくり推進条例	都民や事業者、まちづくり団体などによる主体的な都市づくりを推進し、都市の再生、東京の魅力向上を目的とした、都民等の意欲と創意工夫を生かして、個性豊かで魅力のあるしゃれた街並みを形成するための条例。
東京の都市づくりビジョン	都が平成13年に策定した「東京の新しい都市づくりビジョン」を平成21年に改定した行政計画。今後、都が目指すべき都市像の実現に向け、都民、企業、NPOなど、多様な主体の参加と連携によって、戦略的に政策誘導型の都市づくりを展開する上での基本的な方針を明らかにしたもの。
東京湾ウォーターフロント活性ゾーン	「東京の都市づくりビジョン」で位置付けられていた、隣接県とも連続する東京湾の広大な水辺空間に位置するゾーン。羽田空港や東京港、東京湾岸道路など、広域交通インフラの整備が進んだ、東京の交通・物流の拠点となっている。
東部低地帯	東京都の東部において、地盤高が低く、高潮による浸水のおそれがある地域(おおむねA.P.+5m以下)。地域としては、おおむねJR京浜東北線以東であり、大半の地域が平均満潮位以下の「おおむねゼロメートル地帯」(おおむねA.P.+2m以下)を含む。
特定緊急輸送道路	「東京における緊急輸送道路沿道建築物の耐震化を推進する条例」第7条に基づき、特に耐震化を推進する必要がある道路として指定した道路で、緊急輸送道路のうち、すべての第一次緊急輸送道路及び地域防災計画に基づき災害時の区市町村本部を設置する区市町村庁舎との連絡や他県の第一次緊急輸送道路との連絡に必要な第二次又は第三次緊急輸送道路。
特定都市再生緊急整備地域	都市再生緊急整備地域のうち、都市開発事業等の円滑かつ迅速な施行を通じて緊急かつ重点的に市街地の整備を推進することが都市の国際競争力の強化を図る上で特に有効な地域として政令で定める地域。
特別用途地区	都市計画法に基づき、用途地域が定められている一定の地区において、地区の特性にふさわしい土地利用の増進や環境の保護などの、特別の目的の実現を図るために、用途地域の指定を補完して定める地区。
特別緑地保全地区	都市緑地法に基づき、都市計画区域内の豊かな緑を未来へ継承するために指定された地域。建築行為等、一定の行為への制限などにより現状凍結的に保全する。
都市開発諸制度	公開空地の確保等の公共的な貢献を行う建築計画に対して、容積率や斜線制限などの建築規制を緩和することにより、市街地環境の向上に資する都市開発の誘導を図る制度で、再開発等促進区を定める地区計画、特定街区、高度利用地区及び総合設計がある。
都市計画公園	都市の健全な発展と秩序ある整備を目的とし、公園・緑地として必要な区域を明確化して長期的な視点から計画的な整備を進めるため、都市計画に定める公園。
都市計画区域マスタープラン	都市計画区域の整備、開発及び保全の方針のこと。都市計画法に基づき、都道府県が広域的見地から定める都市計画の基本的な方針。
都市計画マスタープラン	都市計画法に基づき、都市計画区域マスタープラン等に即して定める、区市町村の都市計画の基本的な方針。

語 句	意 味
都市公園	都市公園法に基づく公園または緑地で、国、自治体が設置するもの。住民の利用に供する身近なものから広域的な利用に供するものまで、様々な規模、種類のものがある。
都市再生緊急整備地域	都市再生の拠点として、都市開発事業等を通じて緊急かつ重点的に市街地の整備を推進すべき地域として、政令で定める地域。
都市再生税制	都市再生緊急整備地域及び特定都市再生緊急整備地域の区域内における都市開発事業が、国土交通大臣の認定を受けた際に、事業者による土地取得・建築物の整備や地権者の土地譲渡に対し税制上の特例を適用できる税制上の特例措置の支援制度。
都市再生特別地区	都市再生緊急整備地域内において、既存の用途地域等に基づく用途、容積率等の規制を適用除外とした上で、自由度の高い計画を定めることができる都市計画制度。
都市鉄道	大都市圏(活力ある都市活動及びゆとりのある都市生活の実現に寄与するため鉄道(軌道を含む)の利用者の利便を増進することが特に必要なものとして国土交通省令で定める大都市及びその周辺の地域)における旅客輸送の用に供する鉄道。
都市農地	主に市街化区域内における農地を指す。
土砂災害特別警戒区域	土砂災害防止法に基づき、住民の安全確保を目的に知事が指定するもの。土砂災害警戒区域のうち、建物の倒壊等により特に著しい被害が生ずる恐れがある箇所を指定する。
都心	「東京の都市づくりビジョン」で位置付けられていた拠点で、都の中心業務商業地。大手町、丸の内、有楽町、内幸町、霞ヶ関、永田町、日本橋、八重洲、京橋、銀座及び新橋がこれに含まれる。
都心部・品川地下鉄構想	交通政策審議会答申に位置付けられた路線の一つ。品川駅と白金高輪駅付近を結ぶ構想。
都心部・臨海地域地下鉄構想	交通政策審議会答申に位置付けられた路線の一つ。銀座付近から国際展示場付近まで結ぶ構想。
土地区画整理事業	土地区画整理法に基づき、道路、公園、河川などの公共施設を整備・改善し、土地の区画を整え宅地の利用の増進を図る事業。
土地区画整理事業を施行すべき区域	戦後日本経済の復興に伴う東京への急激な人口増加や産業の集中により宅地需要が増大するなか、無秩序な市街化を防止し、「緑地地域」の理念を継承した緑豊かな住宅地として統一性を保った公共施設の豊富な地帯として総合的な開発を図るため、昭和40年から昭和44年に「緑地地域」の全域指定解除を受け、周辺区部約9,000haで都市計画決定された区域。
土木遺産	主に幕末から昭和の初期につくられた、現存する広義の土木関連施設のこと。
トレイルラン	未舗装の起伏のある山道のランニングで、大自然の景観を楽しむとともに、木の根等の障害物を回避しながら走り抜ける陸上競技。

用語解説

語句	意味
な行	
二地域居住	異なる複数の地域で、同時に生活の拠点を持つこと。例えば、平日は、都市で生活する住民が、週末は農山漁村で生活することなどを指す。
燃料電池自動車	燃料電池で水素と酸素の化学反応によって発電した電気エネルギーを使って、モーターを回して走る自動車。
農空間	本計画では、農地よりも幅広い概念で、農作物の栽培や収穫体験等に利用されるとともに、教育や福祉、コミュニティ形成などにも利用される場のことをいう。
農の風景育成地区	都市部において比較的まとまった農地や屋敷林などが残り、特色ある風景を形成している地域について、区市町が、将来にわたり風景を保全、育成するとともに、都市環境の保全、レクリエーション、防災などの緑地機能を持つ空間として確保する地区。
は行	
排水機場	ポンプにより堤内地側の水を川へ排出する、雨水を川へ汲み出す施設。
ハザードマップ	自然災害による被害の軽減や防災対策に使用する目的で、被災想定区域や避難場所・避難経路などの防災関係施設の位置等を表示した地図。
羽田空港アクセス線	交通政策審議会答申において、事業化に向けて検討などを進めるべきとされた路線。田町駅付近において東海道線と、大井町駅付近及び東京テレポート駅においてりんかい線と、新木場駅において京葉線とりんかい線との相互直通運転を行い、羽田空港へのアクセスの向上に資する新規鉄道路線。
晴海線II期	都市計画区域マスタープラン(平成26年12月)で検討路線に位置付けられている路線の一つ。中央区晴海から中央区築地までを結び、地域高規格道路の計画路線であり、都市計画決定されている。
ヒートアイランド対策	屋上緑化や保水性舗装の推進など、都市部の気温がその周辺に比べて高温を示すヒートアイランド現象への対策。
ヒートショック	暖かい部屋から寒い部屋への移動等による急激な温度変化によって血圧が上下に大きく変動することをきっかけにして起こる健康被害のこと。
ビジネスマッチング	本計画においては、企業が経営を行う上で必要な資金や人材、取引先などを得られるような機会の提供を指す(例:製品・商品の展示や事業計画の発表の場など)。
ビッグデータ	膨大かつ多様で複雑なデータのこと。スマートフォンを通じて個人が発する情報、カーナビゲーションシステムの走行記録など、日々生成されるデータの集合を指し、単に膨大なだけでなく、非定形でリアルタイムに増加・変化するという特徴がある。
非破壊検査技術	物を壊さずに、その内部の傷や表面の傷あるいは劣化の状況を調べ出す検査技術。

語 句	意 味
フィーダー交通	交通機関の支線を指し、幹線交通に交通を集中したり、幹線交通から交通を分散したりする役割を持つ。鉄道の場合には、バスやタクシー、シェアサイクルなどの端末交通が、道路では幹線道路に接続する補助幹線道路や区画道路がこの役割を担う。
フィンテック	金融(finance)+技術(technology)からの造語。金融とIT(情報技術)を融合した金融工学分野の技術革新、また、それに関連するベンチャー企業によるビジネスを指す。
副都心	「東京の都市づくりビジョン」で位置づけられていた拠点。新宿、渋谷、池袋、大崎、上野・浅草、錦糸町・亀戸及び臨海副都心を指す。
プローブ情報	カーナビ等の車載器で記録する位置、時刻、速度、方向などの走行データの情報。プローブ情報を収集することで、道路交通情報の精度の向上が可能となる。
ベンチャー企業	本計画においては、新技術・新事業を開発し事業として発足させた中小企業を指す。特に、発足間もないベンチャー企業をスタートアップ企業という。
防災船着場	災害時において、傷病者や医療従事者、帰宅困難者輸送や、医療・緊急物資の物資輸送など、水上輸送の拠点となる船着場のこと。
ポケットパーク	潤いや休憩のために道路脇や街区内の空地などに整備された比較的小規模な公園空間のこと。
補助幹線道路	骨格幹線道路を補完し、地域レベルの交通を担う道路。
ボルダリング	ロープ等の特別な器具を使わないクライミングのこと。
ホログラム	特殊なフィルムやプラスチック板の上にレーザービームを使って立体画像をプリントしたもの。光線をあてると、立体画像が再現される。

ま行	
街並み景観重点地区	東京のしゃれた街並みづくり推進条例の街並み景観づくり制度に基づき指定される、景観形成上重要な地区。
マルシェ	フランス語で「市場」のこと。
マンション再生まちづくり制度	区市の策定するマンション再生まちづくり計画を受けて、都が地区を指定し、まちの安全性や魅力の向上に寄与する地区内の旧耐震基準の分譲マンションの再生を支援する制度のこと。
水再生センター	下水道管によって運ばれた下水を処理して、川や海へ放流する施設。
水の有効利用促進要綱	雑用水利用(雨水利用を含む)及び雨水の浸透による水資源の有効利用の促進を図るため要綱。

用語解説

語句	意味
ミッシングリンク	主要都市間等を連絡する高規格幹線道路等のうちの未整備の部分。その解消により、時間短縮等の効果のほか、交通利便性の向上がもたらす経済波及効果が期待される。
武蔵野の森総合スポーツプラザ	東京スタジアム(調布市)に隣接する場所に新しく整備された総合スポーツ施設。東京 2020大会ではバドミントン等の競技会場として使用される予定。
木造住宅密集地域	震災時に延焼被害のおそれのある老朽木造住宅が密集している地域として、老朽木造建築物棟数率30%以上かつ、住宅戸数密度55世帯/ha以上かつ、補正不燃領域率60%未満の地域。

や行

ユニークベニュー	MICE開催や実施の際に、文化施設や公的空間などを利用すること。
ユニバーサルデザイン	年齢、性別、国籍、個人の能力などに関わらず、はじめからできるだけ多くの人が利用可能なように、都市や環境をデザインすること。
用途許可制度	建築基準法に基づき、用途地域内で用途規制に合わない建築物を建築する際、用途地域の環境や利便を害するおそれがないものや公益上やむを得ないと認めるものについて許可する制度のこと。
要配慮者支援施設	要配慮者(高齢者、障害者、乳幼児など)の防災施策において特に配慮を要する方を支援するための施設。
予防保全型管理	定期点検等で的確に施設の状態を把握し、計画的に補修や補強を行うことで寿命を延ばし、ライフサイクルコストの低減と更新事業費の平準化を図ること。

ら行

ライフサイエンス	生物が営む生命現象の複雑なメカニズムを解明することで、その成果を医療・創薬の飛躍的な発展や、食料・環境問題の解決など、国民生活の向上及び国民経済の発展に寄与する分野。
ラベリング制度	「非住宅建築物に係る省エネルギー性能の表示のための評価ガイドライン(2013)」をもとに、一般社団法人住宅性能評価・表示協会が検討を行い、非住宅建築物に係る一次エネルギー消費量について、第三者機関が客観的に評価し表示を行う制度。
リダンダンシー	自然災害等による障害発生時に、一部区間の途絶や一部施設の破壊が全体の機能不全につながらないよう、予め交通ネットワークやライフライン施設を多重化したり、予備の手段が用意されている状態。
立地適正化計画	居住機能や医療・福祉・商業、公共交通などの様々な都市機能の誘導により、都市全域を見渡したマスタープランとして位置付けられる区市町村のマスタープランの高度化版。居住や都市の生活を支える機能の誘導によるコンパクトなまちづくりと地域交通の再編との連携によるまちづくりを進める。

語 句	意 味
リニア中央新幹線	昭和48年に全国新幹線鉄道整備法に基づく基本計画が決定され、超電導磁気浮上式リニアモーターカーにより東京都と大阪市とを約1時間で結ぶ新幹線の整備計画路線である。2027年に東京-名古屋間、最短で2037年に東京-大阪間で開業する予定。
リノベーション	建築・不動産（公共空間も含む。）の遊休ストックを活用して、対象となる建築・不動産の物的環境を改修等によって改善するだけでなく、当該建築・不動産に対して新しいライフスタイルの提示、新産業や雇用の創出、コミュニティの再生、エリアへの波及効果などの新たな価値を同時に組み込むことを指す。
リモートセンシング	離れたところから、ものに直接触れずに、調べる手段。人工衛星や航空機などに搭載した観測機器（センサ）を使い、観測しようとする対象物から離れた位置から観測し、その状況を調査する技術。
流出解析シミュレーション	雨水の流出解析手法の一つ。近年では、管路内の任意地点における流量の時系列の把握や、解析結果のアニメーション結果表示などが可能な流出解析モデルを用いたシミュレーションが、降雨や地域の特性を考慮した効率的な雨水対策施設計画の立案のツールとして広く利用されている。
緑化計画書制度	自然保護条例に基づき、一定規模以上の敷地において建築物の新築・増改築等を行う際に、緑化計画書の提出を義務付ける制度。
緑化地域制度	良好な都市環境の形成に必要な緑地が不足している地区において、都市計画の地域地区として「緑化地域」を指定し、一定規模以上の敷地面積の建築物の新築・増築に対し、敷地面積の一定割合以上の緑化を義務付けるもの。
連続立体交差事業	道路と鉄道との交差部において、鉄道を高架化または地下化することによって、踏切渋滞、事故を解消するなど都市交通を円滑化するとともに、鉄道により分断された市街地の一体化を促進する事業。

都市づくりの挑戦 語句説明

語 句

意 味

鉄道混雑率

輸送人員の輸送力(車両定員×通過車両数)に対する割合。「鉄道混雑率180%」とは、体は触れるが折りたたむなど無理をすれば新聞を読める程度の混雑状況。

混雑率データ(国土交通省統計情報/2016年)

JR東日本		東京地下鉄	
東海道(川崎→品川)	184%	東西(木場→門前仲町)	199%
横須賀(武蔵小杉→西大井)	191%	小田急電鉄	
中央快速(中野→新宿)	187%	小田原(世田谷代田→下北沢)	192%
京浜東北(大井町→品川)	182%	東京急行電鉄	
総武快速(新小岩→錦糸町)	181%	田園都市(池尻大橋→渋谷)	184%
総武緩行(錦糸町→両国)	198%	東京都交通局	
埼京(板橋→池袋)	180%	日暮里・舎人ライナー (赤土小学校前→西日暮里)	188%

混雑時平均旅行速度

朝又は夕方(7~9時、17~19時)の混雑時に調査した旅行速度(移動に要した時間で、信号待ちや交通渋滞による停止を含む)の平均。18km/hは東京都全域で算出した値。

不燃領域率

市街地の「燃えにくさ」を表す指標。建築物の不燃化や道路、公園などの空地の状況から算出し、不燃領域率が70%を超えると市街地の焼失率はほぼ0となる。なお、62%(2016年)は暫定値。

電柱本数 約75万本

都道・区市町村道の電柱の本数。道路外に設置されているものは含んでいない。

都民の生活満足度

東京都が実施する世論調査において、現在の自分の生活に対し、「大変満足している」「まあ満足している」と感じている人の割合。

公共交通空白地域

鉄道駅から800m、バス停から300mの圏域以外の地域。

みどり率

緑が地表を覆う部分に公園区域・水面を加えた面積が、地域全体に占める割合。

都民のスポーツ実施率

東京都が実施する世論調査において、週1回以上スポーツ(競技スポーツだけでなく、健康づくりや気分転換など目的を持った身体活動の全て)を実施する成人の割合。